



# 2022 年度 昭和大学 [I 期]

## 【 講 評 】

①は四択の文法・語彙問題 15 題。レベルは標準。4 の cherrypicked を選択する問題は、これが一般的な単語でない上に文からの推測も不可能なため良問とは言い難い。

②は「赤ん坊の認知・思考能力」に関する長文問題。レベルは標準。差がつくのは説明問題と和訳問題であろう。和訳問題は副詞節の挿入がポイント。

③は「科学の発見」に関する長文問題。レベルは標準～やや難。英文自体はそれほど難しくはないが、段落整序や要旨説明問題は事前に相当な訓練を積んでいなければ手間取ることになりそうだ。要旨説明問題は受験生の論理的思考力を測る良問である。

## 【 解 答 ・ 解 説 】

①

1. C. that

「今週末、河口湖に釣りに行かない？時間があればってことだけど」  
・ if S V...that is?は、口語的表現で「…ってことだけど」の意味になる。

2. B. as many

「アーチーは5分しか眠っていないと思ったが、実際には5時間眠っていた」  
・ as many + 数詞で「(先行する数詞を指し)それと同じ数」の意味。文の前半に five minutes とあるので、この箇所は five hours を表すことになる。

3. B. Many picassos

「来月美術館に行ったら、多くのピカソ作品が展示されているはずだ」  
・ ここでの Picasso は「ピカソの作品」の意味の普通名詞。

4. B. cherrypicked

「いいところだけが議論されたように思われるので、その主張に関しては完全には納得してはいない」  
・ cherrypick O 「O のいいところだけを選ぶ、えり好みする」の意味。

5. B. Most

「このエリアのほとんどの店が古着を売っている」  
・ most A 「ほとんどの A」の意味。この場合、A には限定されない名詞が入るため A は無冠詞となる。most of A 「A のほとんど」は A に限定された名詞が入るので、A の前に限定詞(the など)が必要となる。

6. B. lay

「ローマ帝国に滅ぼされた都市がその地域のどこかにあった」

・文構造は Somewhere in the region(M) lay(V) a city...(S).となっているため、Vには「存在している」の意味の自動詞 lie の過去形 lay が入る。

7. D. updating

・ need *doing* は「…される必要がある」の意味。「…を最新にする」の updating の目的語は主語である all computers が兼ねている。All computers...need to be updated.と同意表現となる。

8. A. Had

「あなたの助けがなかったら、運転免許の試験に受からなかったでしょう」

・ had it not been for A は if it had not been for A 「A がなかったならば」の if が省略され、had が倒置された形。

9. A. ever

「いつかさらに情報が必要になったら、気軽に連絡してください」

・ if 節の中で ever を用いると、「とにかく、いつか」の意味になる。

10. D. which

「ジェフは、その日の終わりまでにプレゼンの準備を終えられると言ったが、もちろんそれは非現実的だった」

・ 非制限用法の which の先行詞は、前文の he could get the presentation ready by the end of the day. 非制限用法では関係代名詞の that を用いることはできない。

11. C. situated

・ be situated 「(建物などが)位置している」の意味。これを用いた分詞構文 being situated の being を省略した形。

12. A. produce

「市場で地元の新鮮な農作物を買うことをお勧めします」

・ produce は名詞で「(野菜や果物などの)農産物」の意味。

13. C. the like

「医師、看護師、医療補助員、およびその種の者は全員援助するよう緊急で呼びだされた」

・ ...and the like で「…および同種のもの」の意味。

14. C. climbed

「20年以上前の大学1年のとき、私は富士山に登った」

・ more than two decades ago 「20年前」とあるので、過去形の climbed が正解となる。

15. D. that

「対処すべき問題がいくつかある。しかもかなり複雑な問題だ」

・ at that 「さらに加えて、しかも」の意味。

2

1. (iii) ingenuity

・ 通常-ity の直前にアクセント。他は第1音節にアクセント。

2.

(ア) (C) of

・ (be) capable of *doing* 「…することができる」

(イ) (B) from

・ (be) inherited from A 「A から受け継がれる」

(ウ) (E) with

・ be born with A 「A を持って生まれる」

(エ) (F) without

・ without A 「A なしで」

・ 空所を含む文は、「世界は、首尾一貫した動きをし、空間を占め、理由もなく消えたりはしない物体で構成されている」となり文意に合う。

(オ) (D) to

・ be sensitive to A 「A に敏感である」

(カ) (A) at

・ hint at A 「A をほのめかす」

3.

(I) (C) nothing

・ Nothing could be further from the truth. 「真実からそれ以上離れているものはない」という訳から「それは全く真実ではない」という意味になる。

(II) (C) stunned

・ 空所の直後に「予想が誤りであると判明したとき」とあるので、stunned 「啞然とする」を入れると文意に合う。

・ chuffed 「楽しい」, delighted 「喜んで」, tormented 「苦しんで」は文脈に合わず不適。

(III) (A) as if

・ 空所を含む文は「本の後ろにある物体を隠し、あたかも隠されたその物体がもはや存在しないかのように、突然平らにつぶす」となり文意に合う。空所に続く節が過去時制になっている点にも注目する。

(IV) (D) violation

・ 空所に「違反」の意味の violation を入れると空所を含む文は「頭の中の計算に反することへの反応で、このような認知的驚きを示すことが、生後数か月の子どもですら  $1+1$  が  $2$  になることを理解していると示している」となり文意に合う。

(V) (B) 「赤ん坊はいくつかの仮説から始め、次にそのいくつかを排除する。そうして可能性から確実性へと変わるのだ」

・ 空所の直前で「赤ん坊の視線は論理的推測の強さを反映している。大人と同じように推測したことの可能性が生じた瞬間に瞳孔が開く」と述べられている。空所に(B)を入れると、「おむつを履いた真のシャーロックホームズ(赤ん坊は推測の名人であるという意味)である赤ん坊はいくつかの仮説から始め、次にそのいくつかを排除する。そうして可能性から確実性へと変わるのだ」となり文意に合う。

4.

(a) 透明な箱に3つの黒い球と1つの白い球を入れて赤ん坊に見せる。次に箱の中が見えないようにしてから中の球を1つ出し、赤ん坊の反応を観察する。

(b) 出てくる確率の高い黒い球が出てきたときは、赤ん坊はほんの短時間しか見ないが、確率の低い白い球が出てくるとそれよりずっと長い間見ていた。

(c) 関わる物体の数に基づいて確率の計算を行っていたと考えられる。

5. 「不可能なことを除外すると、たとえどれほど起こりえないことでも、残ったものは何でも真実に違いない」
- ・ the impossible は (the+形容詞=名詞) で「不可能なこと」の意味。
  - ・ S の whatever remains と V の must be の間に、副詞節の however improbable が挿入されている。improbable の後ろには it(=whatever remains) is が省略されている。
6. ① (A) ② (B) ③ (B) ④ (A)
- ・ 空所を含む文の訳は次の通り。「それは①恐竜なはずがない。なぜなら反対側から恐竜が出てくるのを見たから。だから②花に違いない。赤ん坊はポットから③花が出てくると驚かないが、④恐竜が出てくると驚く」

### 3

#### 1. [E] [B] [D] [C]

・流れは次の通り。[A]「宇宙から望遠鏡で地球上のサッカーの試合を観察しているが、細部までは見えない」  
[E]「望遠鏡が改良され、かなり細かいところまで観察できるようになったが、ネットが揺れる原因までは見えない」  
[B]「ネットの揺れる原因がボールではないかという仮説が立てられる」  
[D]「ボールが見える望遠鏡が開発されないと、直接的な証明はできない」  
[E]「目には見えないものであっても、その存在を仮定することで多くの状況が説明でき新たな発見につながる可能性がある」

#### 2. (ア) ball (イ) unseen

・空所(ア)を含む文は「望遠鏡は(ア)が見えるほど高性能ではない」という意味。[B]の段落で「ネットが揺れる原因がボールではないかと仮説が立てられるが、ボールは小さすぎて見えない」と述べられているため、空所に ball 「ボール」を入れると文脈に合う。

・空所(イ)を含む文は「今までのところ両方とも(イ)のままである」という意味。直前の文で「恒星や銀河の動きを説明するために、ダークマターと呼ばれる物質やダークエネルギーと呼ばれる力が存在していると予想されている」と述べられているので、空所に unseen 「見えない」を入れると文脈に合う。

#### 3. ① because ⑥ sense ⑨ is [because so many things make sense if it is]

・下線部を含む文は「誰にも直接ボールは見えないけれど、もしそうなら(ボールがあるなら)とても多くのことが道理に合うので、ボールはあるのだと誰もが同意する」となる。

#### 4. seem

・ seem は whether or not the crowd cheers を主語とする動詞なので seems が正しい。

5. 天王星に関する仮説が海王星の発見につながったように、最初は目に見えず確証のないものでも、それが存在すると仮説を立て状況の合理性を確認していくことで新たな発見や真実につながることもあるということ。

(97字)

お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>